

地域に目を向けて考える

【一人ひとりができること】

1 ボランティアって何だろう？

対象：小学校高学年～一般

人数：10～100名

時間：30～60分

ボランティアって特別なことなのだろうか？どんなことがボランティアなのか？自分たちにできることを一緒に考えます。

- ①ボランティアって何だろう？
- ②ボランティアの特徴
- ③ボランティアの楽しさ、始めるポイント
- ④気を付けておきたいこと
- ⑤市内でのボランティア活動の状況について

2 ボランティア活動の体験談を聞いてみよう！

対象：小学校高学年～一般

人数：10～100名

時間：30～60分

ボランティア活動を行う人に、活動についての質問をしたり話を伺います。

- ①ボランティア活動を始めたきっかけは？
- ②どんな活動をしているの？
- ③活動をして良かったこと、失敗したこと、大切にしていること 等

3 赤い羽根共同募金のなぞ！

対象：小学校高学年～一般

人数：10～100名

時間：30～60分

毎年、10/1～3/31で行われている赤い羽根共同募金はどのような募金なのか？集まったお金がどのように活用されているかを学びます。

- ①何で赤い羽根なの？
- ②共同募金の歴史
- ③日本以外でも赤い羽根共同募金をしているの？
- ④どんな目的で集めて、どのようなことに活用されているの？

4 支え合いの地域づくりを考えよう！

対象：小学校高学年～一般

人数：10～100名

時間：30分

自分の住み慣れた地域で、いつまでも暮らしていくためには、地域に住むみんなの思いやりと支え合いが欠かせません。何ができるかをみんなで考えます。

- ①つくばを取り巻く状況
- ②支え合いの仕組みづくり『生活支援体制整備事業』ってなに？
- ③地域で行われている『支え合い活動』の紹介

5 身体の不自由な人の気持ちになって街に出てみよう!

対象 : 小学校高学年～一般 人数 : 10～40名 時間 : 90～180分
体験使用物品 : 車いす、白杖、アイマスク、消毒用アルコールウェットティッシュ、ティッシュ

街の中は車いすを利用する人や目の不自由な人にとってどのように見え、感じるのか?どんな時に支援が必要か?などを考えます。

- ①車いすの正しい使い方、目の不自由な人のガイドの仕方を知ろう
- ②街の中を車いすで移動してみよう(一人で操作)
- ③白杖を使ってまっすぐな道を歩いてみよう
- ④みんなで協力して支援し、車いすで移動してみよう
- ⑤目の不自由な人をガイドする側、される側になって歩いてみよう
- ⑥車いすを利用する人や目の不自由な人の立場になって街の中を見てみよう

6 みんなに役立つ情報マップを作ってみよう!

対象 : 小学校高学年～一般 人数 : 10～40名 時間 : 90～180分
体験使用物品 : 車いす、白杖、アイマスク、高齢者疑似体験セット、使い捨て手袋、ティッシュ、消毒、地図

体の不自由な人やお年寄りなど、みんなにとって利用しやすい場所、お役立ち情報、危険個所、注意が必要なことなどを書き込んで情報マップをつくります。

- ①車いすの正しい使い方、目の不自由な人のガイドの仕方を知ろう
- ②車いすやアイマスク、高齢者疑似体験をしながら街の中を歩き、情報を集めていこう。
- ③障害のある人や高齢者が優先的に使える物や利用しやすい場所を探して地図に書き込もう
- ④街歩きの中で感じたこと、気になること、発見したこと等も地図と一緒に書き込んでみよう
- ⑤みんなが見やすいように整えて、活用できるようにしよう

7 街の中にある工夫を探してみよう! (ユニバーサルデザイン)

対象 : 小学校低学年～一般 人数 : 10～40名 時間 : 45～60分

誰もが使いやすいように工夫された設備や施設を紹介し、有効活用するために心掛けることを考えます。

- ①バリアフリーとユニバーサルデザインの違いは?
- ②ユニバーサルデザインの物や施設を探してみよう
- ③みんなが使いやすい施設や物が増えれば、人の協力はいらぬのかな?
- ④一人ひとりが守りたいルールやマナー